

町長と語る会（文化センター） 議事録（要旨）

●意見交換

意見 町内に住んでいながら、志賀高原でスキーをしてない方が多くいる。町民に向けた志賀高原のスキーのシーズン券（優待券？）を発行することは可能か。

町長 町営スキー場ではないため、スキー場の皆さんと、町民が利用しやすいスキー場づくりのため前向きに話し合っていく。

意見 スポーツの推進の一環として、シーズン券があって、何日以上すべったら、無料になったりなど、そんなのがあればいいなと思う。

意見 学校統合の説明会に去年だけで3回参加した。まず、何を言っているのかがよくわからなかったのと、統合に向けてのビジョンがはっきりしていないまま進んでいるなど感じた。各地域での懇談会の件だが、地域の方と保護者の方が一緒になってしまうと、地域の方の意見が強く、保護者の方が意見を言えない。できれば保護者だけの懇談会を開催して欲しいのと、母親たちが出席しやすい時間帯でお願いしたい。母親は意外と意見を持っている。また、小中学校の交換留学を視野に教育を進めてほしい。

町長 学校統合に向けて、ビジョンをしっかりと明確化するようにと指示はしている。保護者の方々が出席しやすいような時間帯で懇談会の場を設定していきたい。また、私自身も地域の方と保護者の方が同じ場所で話し合う必要はないと感じている。保護者優先で話し合いができる場を検討していきたい。交換留学の件について、私も大賛成である。小さいころから海外に触れることは大事なことなので、前向きに考えていきたい。姉妹都市のベイルだけではなく、ほかに交換留学がしやすい国（例えばカナダ、ニュージーランド等）は私自身でリサーチしているところ。そのようなことも含めた中で、今後の意見交換とさせていただきたい。

意見 観光局、いいのではないか。山ノ内町で一泊される方はいるが、二泊される方はあまりいない。リンゴ狩りやブドウ狩りなどのイベントがあればよいと思う。また、湯田中駅周辺には売店などが一つもない。観光の発展をお願いしたい。

町長 湯田中駅に関しては、駅周辺が問題だと認識している。湯田中駅は最終駅であり、皆さんには慣れたことかもしれないが、本来は、最終駅まで乗車して、この町まで来ていただくということは来町される方にとっては期待が大きいはず。これが、駅から降りたとたんに残念な気分になってしまうのはよくないので、湯田中駅周辺は何かしらの形で整備していく必要があると思っている。

意見 ぜひ、山ノ内町で2泊してもらえるように取り組んでほしい。

意見 今日は空き家に関する過去3年間のデータを持ってきた。町で空き家として挙げた物件であるが、令和2年では13件、令和3年は12件、令和4年は15件、今年度はすでに13件。このペースでいくと20件は超える。ちなみにこの数字の約8割が東部を除く地域。東部は地域として危機感を持って、空き家を挙げてきて欲しい。この町はポテンシャルがあるため、私たち（不動産業界）と町がタッグを組んで、移住者を紹介できる物件を増やしていきたい。

町長 空き家バンクを活用していくのはすごく重要なことと思う。お試し移住を企画しようと思ったときに賃貸物件がなさすぎてできない。住む場所、住む環境づくりをすることはとても重要。まずは気軽にお試しで町に住めて、そこから気に入れば快適な住む場所を紹介できるような仕組みがいいなと考えている。町としても頑張っていきたい。

意見 活性化企業人はどんな仕事をする予定か。

町長 総務課に3人、観光商工課に1人の計4人を予定している。1人は国や自治体の補助金の仕組みづくりに長けている人材で、私がやりたい事業に関してどのように資金繰りをすればよいのか等のアドバイスをいただくための人材。マーケティングや広報PRに長けている人材で、山ノ内町のPRの分野においてお手伝いをいただくための人材。また、映像制作に長けている人材で、PRのための映像をつくる人材。この3人が総務課に配置する人材で、観光商工課に配置する人材は、これまで自治体が外部の企業的なものを作りどうやって自治体そのものを活性化させていくのか、という分野で活躍してきた人材で、観光局を設立するため、また、地域おこし協力隊の活用アイデアの創出のため、地域活性化にノウハウのある人材を配置する予定。今後もどんどん外部人材を増やして、町の活性化、移住につなげていきたいと考えている。

意見 町長の説明から、教育、スポーツ、スキーの関する熱量が伝わってきたが、文化面においても、もう少し力を注いでいただきたい。

私たちの演劇や合唱の場はだいたいこの文化センターで行われるが、ステージの高さが高い。こじんまりとしたホールで構わないから、そういった整備も検討して欲しい。

町長 文化の面は非常に重要だと思う。財政のこともあるので、すぐに出来るとは言えないが検討したい。

意見 数年前に町の支援をいただきながら、デュアルスキー操作のライセンスを取得した。昨年度までは、その関係で信州大学の先生方が障害のある子ども、運動が苦手な子どもに対応していただき、その子の技量に合わせた機材を選定してくれて、今まで、スキー教室に参加できなかった子どもも参加できたと伺っている。しかしながら、今年度から信州大学の先生方が関わっていない。どうになってしまうのか。

観光商工課長 ここ数年、小学生のスキー教室において、信州大学と連携し、だれでも楽しめるスキー教室を実施しており、今年度も連携しているものと思うが、確認をする。

意見 また、町の補助金で野良猫対策の不妊化手術の補助がある。今問題となっているのが、飼い猫であり、飼い猫が野放しとなっており、どこかの空き家で子猫を作っている。飼い猫のため、勝手に不妊化手術をするわけにもいかない。生まれた子猫が農作物を荒らし、困っているという話も伺う。この点について、どのように考えているのかを伺いたい。

健康福祉課長 猫の関係は野良猫の関係の避妊と去勢手術に対する補助を出している。飼い猫については、検討させていただければと思うが、難しい部分もあることをご理解いただければと思う。

意見 この町の一番いけないなと思うところは、役場の皆さんと町民が一体となっていないところだと思う。ボランティアで湯田中のお祭りを20年間やっているが、町の職員が激励に来ていただいたことはない。山ノ内町を一つの会社と考えたときに、町長が社長で、役場の皆さん、町民の我々は社員である。全員が一体となってまちづくりをする必要がある。今日、町長をはじめ、役場の管理職の皆さんが出席していただいていることが大変ありがたい。今後ともよろしくお願ひしたい。また、この町から飯山高校や下高井農林高校に通っている学生がいるが、親が送迎している。観光面、通学面でも山ノ内町という一つの単位ではなく、飯山までひとくくりにした交通システムを検討してはどうか。

町長 飯山市とは観光の関係で連携しているため、路線バスなどの公共交通も含めて、どんな交通がいいのか、今後山ノ内町の公共交通をリデザインしていかなければいけないと考えている。前向きに検討していきたい。

●閉会